

高品質・低コストを両立する高糖分・高消化性WCS 用稲の微細断技術体系

WCS稲を微細断して高密度輸送し、飼料基地で高品質なサイレージへ調製する低コスト技術体系

研究開発の背景

- ・高品質な国産飼料を畜産農家へ供給する上で、低コスト化が望まれている。
- ・高糖分のWCS用稲は畜産農家からの需要が高いものの、長程で収穫作業が遅延する場合があります、対策技術が求められている。

研究成果の内容

高品質・低コストを両立するWCS 用稲の微細断技術体系



微細断収穫

長程対応の微細断飼料収穫機(ワゴンタイプ) アタッチメント交換なしで、長程WCS用稲、飼料用トウモロコシ、ソルガム類、飼料用麦へ対応可能

積み込み



高密度輸送

1トン以上の高密度輸送

輸送



ロールベール調製

バンカーサイロ調製

飼料基地へ輸送し、ロールベールやバンカーサイロへ調製可能。



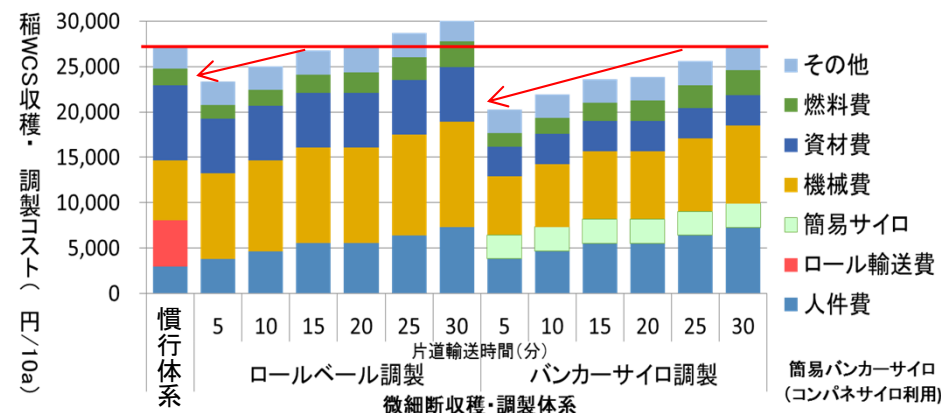
30mm → 6mm

理論切断長* 6mm(微細断)~30mm (従来長)可能

*実際の切断長は条件によりバラツキが大きいため理論切断長とする

導入メリット

- ・圃場から飼料基地の片道輸送時間が20分以内で低コストに
- ・バンカーサイロ調製でより低コストに



慣行体系(左)と微細断収穫・調製体系の10aあたりコスト
微細断体系では輸送時間が短いほど必要なトラック台数が少なくてすみ、コストが減少。

* 西日本農研ホームページにマニュアル掲載

微細断技術は、高糖分WCS用稲の微細断収穫と酢酸生成型乳酸菌を組み合わせた技術です。



期待される効果

- ・高品質飼料生産が可能となり、低コストで高品質な畜産物生産、農家の所得増等が期待される。
- ・ロールベールの品質のバラツキ、資材コスト、廃棄資材や、圃場からの輸送コストの問題が解決される。

開発機関: 農研機構西日本農業研究センター、広島県立総合技術研究所畜産技術センター、広島県酪農業協同組合、岡山大学、株式会社タカキタ、予算区分【競争的資金】

導入をオススメする対象
WCS用稲、飼料用トウモロコシ等収穫作業受託組織、TMRセンター、JA、法人